令和（　５　）年度　教科（　技術　）　　第（　１　）学年　年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ，ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して，技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

材料と加工・生物育成の技術の基礎的な理解と，それらに係る技能を身に付け，課題を解決する力を養う。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 ５段階評定
評価内容	既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5　90%以上 4　80%以上 3　50%以上 2　20%以上 1　20%未満
評価方法	ワークシート 実技試験 定期試験 製作品	ワークシート 設計図 定期試験 製作品	ワークシート 振り返りシート 設計図 定期試験 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上　B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	ガイダンス	①技術の役割と見方・考え方	4	特別な教科　道徳
	5	材料と加工の技術			社会
	6		②生活や社会と材料と加工の技術　D	2	
	7		②材料を利用するための技術	3	数学
	8		③問題解決の手順　D	6	
2	9		④材料と加工を利用した問題解決　D	１８	社会
	10				
	11				
	12				
3	1				
	2		⑤これからの材料と加工の技術　D	2	社会
	3				理科
総時数	３５ 時間				

令和（　５　）年度　教科（　技術　）　　第（　２　）学年　年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ，ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して，技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

エネルギー変換の技術と，情報の技術に関する基礎的な理解と，それらに係る技能を身に付け，課題を解決する力を養う。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 ５段階評定
評価内容	既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5　90%以上 4　80%以上 3　50%以上 2　20%以上 1　20%未満
評価方法	ワークシート 定期試験 実技試験 製作品	ワークシート 定期試験 行動観察 製作品	ワークシート 振り返りシート 定期試験 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上　B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等 との関連
1	4	生物育成の技術	①生活や社会と生物育成の技術	1	社会
	5		②育成環境について　D	1	理科
	6		③生物育成の利用	1	
	7		④生物育成の技術による問題解決　D	8	特別の教科　道徳
	8		⑤これからの生物育成の技術	1	総合的な学習の時間
2	9	エネルギー変換の技術			
	10		①生活や社会とエネルギーの技術	1	社会
	11		②エネルギー資源の利用	2	
	12		③電気の利用　D	3	理科
3	1		④運動の利用　D	3	数学
	2		⑤エネルギー変換の技術による問題解決	１３	特別の教科　道徳
	3		D	1	総合的な学習の時間
			⑥これからのエネルギー変換の技術　D		
総時数	３５ 時間				

令和（　５　）年度　教科（　技術　）　　第（　３　）学年　年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ，ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して，技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

情報の技術の基礎的な理解と，それらに係る技能を身に付け，課題を解決する力を養う。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 ５段階評定
評価内容	既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5　90%以上 4　80%以上 3　50%以上 2　20%以上 1　20%未満
評価方法	ワークシート 小テスト 定期試験 製作品	ワークシート 定期試験 製作品	ワークシート 振り返りシート 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上　B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4 5 6 7 8	情報の技術	①生活や社会と情報の技術　D ②情報とコンピュータ　D ③情報の表現と伝達　D ④計測制御を利用した問題解決　D	1 1 2 6	理科 社会
2	9 10 11 12		⑤情報セキュリティと情報モラル　D ⑥双方向性のあるプログラムコンテンツによる問題解決　D	2 5	特別の教科　道徳
3	1 2 3		⑦これからの情報と技術　D	1	社会
総時数	１８ 時間				